

環境を守る吹田市の責任は重大

吹田市の環境アセス条例は、宝の持ち腐れ

吹田市が「住み良いまち」と言われてきたのは、「都心に近くて緑が多い」市だったからではないでしょうか？しかし近年、吹田市は開発ラッシュ。高層マンション建設問題、不動産業者が所有する私有地の問題、そして「うめかも」…。地域住民の声を聞いてほしいと、市役所に行っても、解決どころか、面会もしてくれない現市長。普段から「環境を守りたい」と公約されているのだが…。

吹田市の “乱開発状況” 打開の道は…

有田 昨年12月、この「すいた市民しんぶん刊行委員会」主催で、まちづくりシンポジウムが開催されました。その中で、高層マンション建設問題、千里ニュータウンの公営住宅建て替え問題、新芦屋地区の私有道路問題、そして「うめかも」（梅田貨物駅の吹田移転問題）と、現在の吹田市民が抱える様々な地域問題が噴出しました。本日はもう少し各地の問題を掘り下げて、何が問題なのか、解決策はあるのか、吹田市はどう関わるべきなのか、などを議論したいと思います。



条例に基づく業者の「あつせん」の話はたった一回

矢沢 私たちの住む山田西B住宅と、問題のJ.R社宅マンション予定地は、従来は同じ一つの敷地でした。現在の吹田市民病院が片山町に建設される際に、吹田市の土地との交換で、J.R西日本の土地になったのです。だからかつてのJ.R社宅は、私たちB住宅と同じように5階建てで、同じ向き。

景観にも緑にも恵まれた街でした。ところがJ.Rは急に、この社宅を取り壊して13階建ての高層マンションにするという。J.Rの敷地境界わずか7メートルのところ、「城壁のような」マンションが建てられればB住宅は3方を囲まれます。「これはたまらん」と対策委員会を作ったのです。

有田 予定地の周りに、反対のノボリや看板が林立してますね。計画の変更はあったのですか？

矢沢 地主であるJ.R西日本は交渉に現れません。子会社は「西日本開発」が開発し、交渉には「アズ開発」という企業が出てくる。予定の13階建てが、12階、8階に変更されて行くのですが、私はこ

有田 八郎さん
地域の声を市政に反映させることが大事。そんな吹田であってほしいが…

これは「削りシロ」だと思えます。有田 「削りシロ」と申しますと？
矢沢 それが業者の賢いところで、わざと予定より高い階数を提示し、住民たちの反対運動があると、いかにも「譲歩しました」という形を作っているのです。ですからB住宅の境界からわずかなところに「城壁のように建つ」ことは、変更されません。私たちは建築そのものに反対しているわけではない。「もう少しバツクしてほしい」「もう少し背を低くしてほしい」「向きを変えてB団地と同じ配列で建ててほしい」と言うだけなのです。



吹田のまちづくりについて意見を交換しました。

吹田まちづくり問題座談会 (出席者)

- 岩根 良 (市民とともに歩む市長をつくる会代表委員 前吹田市職員労働組合執行委員長)
- 春田 圭子 (新芦屋の環境と生活をまもる会副会長)
- 藤井 幸雄 (うめかも住民投票を求める条例制定請求代表者)
- 矢沢 一郎 (山田西B住宅管理組合JR社宅建設反対対策委員会委員長)
- 有田 八郎 (吹田市職員労働組合執行委員長代行)

岩根 「吹田市中高層建築物の建築に係る紛争の調整に関する条例」では、市長が「迅速かつ適正に調整する」責務を持つと定められていますが？
矢沢 条例に基づいて、あつせんの話し合いを持ちましたが、3回だけ。それも突っ込んで話ができただけ。つた一回で、数時間のみ。「あつせん」の次は「調停」なのですが、吹田市は、「これ以上は無理」と、打ち切りに動き、結局話し合いは、実質たつた一回でした。

ある」と。条例の理念でいえば、吹田市は、この権利を保障する責任があります。
有田 条例の精神は素晴らしいけれど、それを運用するのは市の責任です。現市長になって8年、一度として大規模開発がストップしたことはない。これでは「宝の持ち腐れ」といわれても仕方がないでしょう。
この構図は、「うめかも」問題でもまったく一緒だったと感じます。環境アセスの素晴らしい条例があるのに、「うめかも」は止まらなかった。

このままでは「城壁のような」マンションが建つと危惧するB住宅のみなさん
つてくれませんか。アセス条例に基づいた「公聴会」にも、現市長は一回も出席しませんでした。私たち「公述人」が吹田メイシアターで、喘息患者の不安や、交通事故の心配、財政面での不透明さなどを訴えているとき、日本海でカニを食べに(笑)行っておられたようです。
ちょうど1年前に住民投票の運動を始めました。私を含む5名が代表者となって、住民投票を求める署名が始まったのが1月25日。現市長の名前で「署名を始めてもよろしい」との許可があつて、スタートしたのです。署名期間は1か月。住所氏名に加えて、生年月日、印鑑が必要だったので、寒い冬でしたが一軒一軒回りました。その署名を集めている途中、2月10日に、市長は「うめかも」の吹田移転について勝手に合意してしまいました。これはおかしい話です。一方で「住民投票するための



矢沢 一郎さん
吹田市には、しっかりと「まちづくりビジョン」を持ってほしい

ただではなく「住民たちと対話してほしい」「意見を聞いてほしい」とお願いしました。しかし一度として会

岩根 吹田市の環境基本条例は、「良好な環境を享受することは、市民の基本的な権利」と宣言しています。また「良好な環境を将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた大きな使命で

藤井 私たちはもう7年前前から自治会をあげて「公害道路を止めてほしい」と運動してきました。私は代表者として現市長と3回ほど面談しましたが、常に「代表と

現市長の8年間、大規模開発は全てOK

市長が認めた「うめかも」住民投票署名の最中に

城壁のようなJ.R社宅マンションが隣りに…